

事業名	近鉄名古屋線連続立体交差事業 (川原町駅付近)	事業区分	連続立体交差事業	事業主体	三重県
-----	----------------------------	------	----------	------	-----

起終点	自：三重県四日市市滝川町 至：三重県四日市市陶栄町	延長	1 km
-----	------------------------------	----	------

**事業概要**  
 本事業は近鉄名古屋線の川原町駅付近を連続立体交差化し、踏切4箇所を除却することにより、踏切渋滞・事故を解消するなど都市交通の円滑化と鉄道による地域分断の解消を図るものである。

**事業の目的、必要性**  
 連続立体交差事業にあわせ、末永・本郷土地地区画整理事業により都市基盤を整備し、都市交通の円滑化を図るとともに、周辺のまちづくりを進め、地域の活性化・一体化を図るものである。

全体事業費	約90億円	踏切交通遮断量	4万台時/日
費用便益比	B/C 1.5	総費用	66億円
		事業費	66億円
		維持管理費	0億円
		総便益	99億円
		走行時間短縮便益	95億円
		走行費用減少便益	3億円
		交通事故減少便益	1億円
		基準年	平成16年

- 事業の効果等**
- ・円滑なモビリティの確保（鉄道交差道路における踏切交通遮断量 10,000 台時/日以上 の踏切道の除却）
  - ・都市の再生（土地地区画整理等の沿道まちづくりとの連携有り）
  - ・個性ある地域の形成（鉄道により一体的発展が阻害されている地区を解消）
- など16項目に該当

**関係する地方公共団体等の意見**  
 四日市市の総合計画に連続立体交差事業の推進が位置付けられているとともに、三重県および四日市市より早期実現の要望を受けている。

